

駒大 002 001 011=5
青学大 100 001 011=4

接戦勝ち抜き、

待望の今季初勝利！！

駒大5-4青学大

1回戦

2016年度春季リーグ戦
第3週 4月18日
1勝0敗

2連敗で迎えた対青学大1回戦。初回から先制点を奪われたものの、3回には長谷川と菅野の適時打で逆転に成功した。試合は一進一退の攻防となったが、最後は見事勝ち切り、待望の今季初勝利となった。

立正大戦では、2試合合わせて7安打と、昨季からの課題である打撃面で苦しんだ。西村亮監督は「対策できずに何度も一人の投手に抑えられるのは恥ずかしい。しっかりとやってみよう」と打撃陣への奮起を促した。初戦の先発は東野龍二(商3)。前回は、試合を作ることができずに、「これから気持ちを切り替えてやってみよう」と語った。しかし初回、四球と三塁への内野安打で2死一、二塁とされると、次の打者に右前適時打を打たれ、

いきなり先制を許す。流れが変わったのは3回裏。1死一、三塁の場面で迎えた打者は長谷川雄飛(法4)。「詰まったが、よく飛んでくれた」と右前適時打を打ち、同点さらに菅野尠門(商2)の右前適時打で、逆転に成功した。

その後も最後まで接戦となるも、9回には巴山颯太郎(法2)が、今季チーム初となるソロホームランを打ち追加点。最後は初登板の伊藤大海(経1)が青学大打線を封じ、今季初勝利を飾った。1部復帰には、とにかく勝つしかない。試合後米満は「2連勝で勝ち点1を取り、勢いに乗って行きたい」と、次戦に向けての決意を語った。

打安点

(8)米	満	540
(4)福	山	200
(7)長谷川		433
(9)青	地	300
(3)巴	山	421
DH新	井	200
HD松	尾	100
(6)菅	野	521
(5)岡	田	310
(2)長		410

計 33135

回 打安責

○東	野	72/3	33113
高橋由		01/3	421
伊藤大		1	300



【五】本塁打を放った巴山

文Ⅱ山本正太
写真Ⅱ二宮優里亜

2回戦

2016年度春季リーグ戦
第3週 4月19日
1勝1敗

苦しい試合展開

勝負は第3戦へ

青学大 000 020 000=2
駒大 000 000 000=0

青学大2-0駒大

「同じような打ち取られ方をしている。打てないくらい良いピッチャーだとしても…」と西村監督は言葉を濁らせた。今季の課題の一つである打撃は、主将の高橋亮介(法4)が「駒大打線は」今日のような投手に「弱い」と分析したように、13安打5打点の前日の勢いは影を潜め、4安打無得点と不発に終わった。先発の谷中も、先制点こそ許さないものの、初回から相手打線につかまり苦戦を強いられる。西

前日の勝利に続き2回戦。先発の谷中文哉(商4)は5回、安打や捕逸なども重なり2点を奪われる。谷中の後を任された高橋由弥(経3)が、4回無安打無失点の好投を見せるも、打線は奮わず無得点。勝負は第3戦に持ち込まれた。

打安点

(8)米	満	310
R8諸	積	000
(4)福	山	100
4新	井	200
H恒	川	100
(7)長谷川		310
DH青	地	300
(3)巴	山	310
(9)酒	井	310
(6)菅	野	300
(5)岡	田	300
(2)長		200
H高	石	100

計 2840

回 打安責

●谷	中	5	2570
高橋由		4	1400

村監督から指摘されたようにボールカウントが先行することが多く、四球で打球のリズムを崩す場面も多く見られた。一方、6回から谷中の後を任せられた高橋由は、インポの良い投球を見せ、4回無安打無失点の好投。攻撃面では、盗塁失敗などで得点のチャンス逃がしてしまう歯がゆい場面もあったが、高橋亮介主将は「状態のいい打者がいるので、明日は対策をしっかり立てて臨みたい」と翌日の展望を語った。次戦ではつなぐ打線と安定した打球のかみ合ったプレーが求められるだろう。

文Ⅱ寒川朋子

